

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和4年10月 評価を決定

(2) 評価の方法

教育委員会において、施設整備計画の目標に基づき事後評価を実施した。

4. 総合的な所見

事業が令和4年度に繰越となったが、施設整備計画の目標を全て達成し、施設の老朽化対策、教育環境の質的な向上及び防災機能の強化を図ることができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

新宿小学校について、外壁及び屋上の防水層の改修工事を実施し、建物の長寿命化を図ることができた。また、外壁の劣化部補修等により、外壁及び仕上げ材の剥落・落下の危険性が低減し、生徒の安全確保及び災害時における避難所としての安全性の向上に寄与することができた。

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

新明小学校について、トイレ内装材の剥落・落下防止工事を実施し、非構造部材の耐震化を図ることができた。災害時における避難所であることから、避難所としての安全性の向上にも寄与することができた。
南中学校について、老朽化した空調設備を更新し、快適な教育環境を確保することができた。また、両校とも災害時における避難所であることから、避難所としての安全性の向上と避難者の良好な生活環境の確保にも寄与することができた。

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針			事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分			
新明小学校	(2)	36	防災機能強化	-	-	R4.7～R4.10	R4.10.11	
新宿小学校	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	R4.6～R4.9	R4.9.30	
南中学校	(2)	07	大規模改造(空調)	校	-	R4.4～R4.9	R4.9.27	